

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：血液培養液陽性ボトルから直接サブカルチャーなしに直接菌種同定、薬剤感受性検査と耐性遺伝子検出する方法の検討
- ・目的：感染症の病原菌同定とその薬剤感受性は感染症治療の中核です。特に重篤な血液培養陽性となった菌血症では、迅速で正確な菌種同定と薬剤感受性結果が治療に直結し、予後にも重大な影響を及ぼすため、一刻も早い結果報告が求められます。現在は血液培養陽性ボトルから培養液を取り出し、培地にてコロニー形成させた（サブカルチャー）後、菌種同定を行い、その後薬剤感受性試験を実施しています。今回、我々は検査終了後の残余ボトルから直接培養液を取り出し、サブカルチャーなしにそのまま菌種同定、薬剤感受性試験と耐性菌の有無の確認を検討する。このため、この血液培養ボトルから直接法と従来施行している方法との菌種同定と薬剤感受性の相同性を比較検討することを計画しました。この血液培養ボトルから直接法が従来法と高い相同性を示すことができれば、結果報告が現在よりも大幅に短縮される可能性があります。この結果、より迅速な結果報告が可能になり、より早期の治療につながれると考えます。
- ・研究期間： 承認日 ~ 2026年 3月31日
- ・研究対象： 2022年4月1日 ~ 2025年3月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

- ： 今回の研究には、通常検査を行った後の残余検体である血液培養と対象期間に血液培養から検出され、保存されている菌株も必要となります。  
このため、新たな検体採取などご負担はありません。

利用する者の範囲

- ： 渡邊典之（研究責任者：中央検査部）  
海老原康博  
光武耕太郎  
田地功忠  
小山幸枝  
田平真由  
須賀優斗  
成瀬春樹

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- ： 国際医療センター 渡邊典之